

やまぎん

アジアニュース

経済月報
No. 483 掲載分
平成 27 年 7 月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【青島支店】

「『複合型アミューズメント施設』からみる『サービス産業』について」

【はじめに】

青島市のGDPは一昨年までの10年以上の間、毎年2桁成長を維持し、昨年8%へ低下したものの依然として北京、上海等の大都市と比較して高い伸び率を維持しています。ただし、GDP規模は山東省で1位ですが省内シェアは15%程度と低く、これは相応の経済規模を持つ都市が複数存在する山東省の特徴です。なお、GDP規模は上海の3分の1程度です。

2014年の産業別構成は、第一次産業が4%、第二次産業が45%、第三次産業が51%となっていますが、第三次産業の比率を高める目標（金融・物流・科学技術・情報サービス・各種ビジネスサービスが重点業種）が立てられており、今後、第三次産業の比率は60%程度まで上昇する見込みです。

なお、青島市は投資誘致の方針として、産業の構造調整及びアップグレードに貢献する企業を積極的に誘致する姿勢で、戦略的新興産業（情報技術、バイオ、新材料、新エネルギー等の新興産業）及び金融、物流、IT等のサービス業の進出を歓迎するなど、以前に比べ、業種または投資金額の面で選別されています。

また、青島市は流通分野の対外開放を一段と拡大し、国内外の著名な大型小売企業を誘致することを打ち出しています。経済成長に伴い市民の購買力（可処分所得）も順調に増加しており、九州にある「リバーウォーク北九州」や、「キャナルシティ博多」のような複合型商業施設である「ロックシティ」等のショッピングセンターの新規出店が続いています。

今回は、青島市が積極的に投資誘致しているサービス業の中でも、複合型アミューズメント施設にスポットを当てて、みなさんにご紹介したいと思います。

【日系テーマパークの進出】

2015年7月3日（金）に中国・青島華潤センターの商業施設「青島万象城」内にセガグループが展開する「青島ジョイポリス」がオープンしました。「ジョイポリス」は、デジタルエンタテインメントによる室内テーマパークです。東京・お台場にある「東京ジョイポリス」は、1996年の開業から現在までに約1,500万人の来館者が訪れています。約8千平方

メートルの館内に、屋内型ジェットコースターや 3D 映像による体験空間など、合計 20 種類のアトラクションが設置され、館内中央の立体的なステージでは、最新のデジタル技術を用いた映像演出や空間演出により、様々なライブコンテンツが上演されています。また、人気のプリントシール機が多数設置され、好きな衣装に着替えて撮影をすることができるコーナーなど、日本で人気の高いアミューズメントやサービスも展開されています。

青島には、絶叫型アトラクションを売りにした「特夢幻王国」等の既存のテーマパークもありますが、最新のアミューズメント及びサービスを提供する「青島ジョイポリス」の人気は、益々上昇していくことが期待出来ます。



【青島ジョイポリス】



【青島ジョイポリス 内部の様子】

【「中国版ハリウッド」の建設について】

現在、不動産開発大手の「大連万達集団（ワンダ・グループ）」が青島市に総工費 500 億元（約 9,900 億円）をかけて映画スタジオやホテル、ショッピングモールなどを含む商業施設を建設しており、2017 年 6 月に完成予定です。

映画を中心とする複合施設としては世界最大で、376 万㎡（東京ドーム 80 個分）の敷地に、20 個の映画スタジオや音響施設、アニメ制作所などを設置し、映画作りの一大拠点と

なります。また、8軒のホテルや蠟人形館、ショッピングモール、室内アミューズメントパークのほか、300隻のヨットが入れるヨットハーバーも併設するなど、一大リゾートセンターとなる予定です。

昨年9月に青島市内でレオナルド・ディカプリオやジョン・トラボルタ、ニコール・キッドマンなどの著名な俳優や女優を招き、起工式が行われました。中国の映画市場は日本を抜いて、現在世界2位の規模に成長しています。また、2020年には約1兆2400億円とアメリカを抜いて世界最大となる見通しです。

中国の映画産業は当局によって厳しく統制されており、政治的にデリケートなテーマや題材はカットされていますが、中国政府も国際社会での「ソフトパワー」活用の重要性に気付いており、今後、映画産業は益々盛り上がっていくものと考えられます。

【終わりに】

中国全土で経済成長に伴い、可処分所得が増加しています。現在、青島の所得水準は上海に2年遅れていると言われています。消費支出の衣服に関する支出割合が高く、必需的消費が6割と高い水準になっています。一方、上海では教育、文化、娯楽に関する支出が高く、今後の所得水準の上昇に伴い、青島のサービス産業に関する市場は拡大していくものと考えられます。

また、山東省の消費市場は31省市（22省・5自治区・4直轄市）の中で広東省に次ぐ大きさですが、青島市は山東省最大の消費市場ながら、上記GDP同様省内シェア2割程度となっています。サービス業での新規進出は上海等の大きな市場を想定されがちですが、山東省内には相応の規模の都市が複数存在すること、競争が大都市に比べて少ないことを考えると、大都市をあえて避けて最初に進出する場所として青島の消費市場の魅力は高いと言えます。

加えて、青島市には23の友好都市がありますが、下関市との関係は古く2014年に35周年を迎えています。地理的に距離も近く、海を挟んで古くから交流が多かったこともあり、他都市に比べて山口・広島・北九州からは進出しやすい環境下にあると考えられます。

急速なハード面の社会インフラの整備にソフト面が追いついておらず、多くの現地中国人から社会福祉面での不満を耳にします。また、急速な都市の発展による世代間の価値観の違いから核家族化が進んでおり、「一人っ子政策」により高齢者比率も増加しています。社会構造が変革期にあり、ビジネスチャンスは益々増えていくと考えられます。

山口銀行青島支店では、多くの日系企業の進出後の事務的なお手伝いしております。進出を検討されている方は、お気軽に山口銀行青島支店にご相談下さい。

換算レート：1元＝19.73円

以 上